

# 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	現状と改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	5	2	動きのある子にしては狭い 利用者が増えてギリギリ、人数が多い時部屋を上手に使うことができていない。環境整備。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	3	0	基本的に適切。時間帯によって足りない。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2	1	トイレ1人しか入れない。子供達の手洗い場がない。 便座に座る時、風呂ドアが気になる。 非常口に段差がある。工夫が必要。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	4	1	ミーティング等を取り入れず実践できてるものできていないものがある。ミーティングで振り返りができるようになった。 話し合いの時間を作るようになった。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1	5	今回が初めての実施。これからの課題。 特定の保護者になる事もあるが、保護者の意向は把握できている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0	2	5 無1	これからの課題、実施し始めている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	4 無1	経験豊富なアドバイザーに入ってもらい、支援方法などを教えて頂いている
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1	0	個々が研修会に参加し知識を深めている
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後デイサービス計画を作成しているか	7	0	無1	日頃の会話や面談でニーズや課題を聞き取り、支援計画に盛り込んでいる。向上しつつある。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	4	3	実用化できているものはない
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	無1	得意分野を各々が活かし話し合っできてきている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	話し合う場ができれば、これから改善できる。 無理のない範囲でできている。同じプログラムでも以前と違う工夫を心がける。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	2	無1	支援時間が違うため時間に対応した支援を実施
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	4	0	リハビリ、買い物、行事多く取り入れている。 個別活動が中心となり、屋外活動などで集団活動をしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	3	2	開始前に常にできないが実施。ホワイトボードを用いた方法で、その日の動きが確認できるようにしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2	0	時間を設けていない。振り返りする時間がない。 20分でも話せる時間をつくる。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1	2	記録はしっかりできていて、月のまとめなどに役立っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0 無1	カンファレンス・ミーティングの場を設けている
関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	1	5	1 無1	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	3	0 無1	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	1	0	お迎え時、学校の様子を聞くようにしている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	6	2	0	書類のみ、病院への受診同行を実施している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	2	不十分な部分がある
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	3	2	不十分な部分がある
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2	1 無1	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	2 無1	取り入れていくとよい。限定的な活動になっている。 障害の有無にかかわらず、おはな堂を通して関わる事ができている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	7	1	0 無1	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1	1	利用した日には、子どもの様子を記録や口頭で伝えるようにしている。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	2	0	伝えている部分とまだまだの部分がある。	

保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	5	0 無1	入所の契約時に実施
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	2	0	保護者との関係性ができていない 時間をかけて取りくみたい 面談だけでなく、送迎時など日々に対話にて支援している
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	2	0	個々にはある。保護者会など開催は計画的に入れている。 正式な会ではないが、父母が参加型のイベントの企画運営をしている
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	0	窓口を一本化し、その場で解決しないようにしている
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護社に対して発信しているか	6	2	0	SNSを活用し、日々の活動を伝えている 又、月の予定も配布している
	③5	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	
非常時等の対応	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	0	0	地域の方も入るイベントを開催し、施設を知ってもらうきっかけになっている
	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	3	0 無1	全てに対応できない
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	無1	月に1度実施
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1	無1	個々にはできているが、全体で話し合う事はできていない
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	1	無1	入所時や支援の過程で保護者と相談をし適切に対応できている
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3	1	必要な場合は医師の指示書に基づき対応
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2	0	最近できていないため